

第45回北海道・東北地区大学男子・女子ソフトボール選手権大会兼
第59回全日本大学ソフトボール選手権大会北海道・東北地区予選会

大会要項

1. 主催 東北ソフトボール協会 北海道・東北地区大学ソフトボール連盟
2. 後援 秋田県由利本荘市、(一財)由利本荘市スポーツ協会
3. 主管 秋田県ソフトボール協会、由利本荘市ソフトボール協会
4. 特別協賛 ナガセケンコー株式会社
5. 会期 女子 令和6年5月18日(土)～19日(日) *予備日なし
男子 令和6年6月22日(土)～23日(日) *予備日なし
6. 会場 由利本荘市矢島多目的運動広場 〒015-0404秋田県由利本荘市矢島町七日町字上山寺34-2
由利本荘市矢島ソフトボール場 同上
7. 参加チーム数 男子10チーム 女子8チーム
8. 参加資格 (1) 令和6年度公益財団法人日本ソフトボール協会及び全日本大学ソフトボール連盟に登録した同一大学の学生で編成されたチームであること。
(2) 学長(学部長又は学生部長)が人物、身体ともに適当と認めた者であること。
9. 出場資格 (1) チームの編成は、次のとおりとする。
監督1名、コーチ2名以内、スコアラー1名、トレーナー1名、選手30名以内とする。
ただし、監督、コーチ、スコアラーが選手を兼ねる場合は選手登録をしなければならない。
※通訳1名(外国人選手がいる場合に限る。)のベンチ入りを認める。
(2) スコアラーとしてベンチ入りする場合は、公式記録員の有資格者であること。
(3) チームの中に、次の資格を有する者がいること。
監督・コーチが資格を有していない場合においては、チーム内に有資格者(監督代行になり得る者)がいなければならない。
①公認ソフトボールコーチ1・2・3・4 ②公認ソフトボール準指導員
③公認ソフトボールスタートコーチ(学生に限る)
※指導者資格保持者は試合中、ベンチ内にいなければならない。
試合開始前に本人確認を行うため、指導者登録証と身分証明書を携帯すること。
10. 申込み方法 別紙関係用紙(秋田県ソフトボール協会ホームページからもダウンロードできます。)に必要事項を明記の上、各県協会の認印受け、(公財)日本ソフトボール協会登録用紙(B表)の写しまたはシクミネット登録票写しを添え、女子は4月20日(木)、男子は5月24日(木)までに到着するよう、下記宛に申し込むこと。
※B表の写し等の提出は、東北ソフトボール協会申し合わせ事項第1-(4)による。
〒015-0809 秋田県由利本荘市本荘4-2
秋田県ソフトボール協会 理事長 吉田 隆久
携帯電話:090-9421-9103 Fax:0184-23-1537 E-mail:akitakensoftball@gmail.com
※提出物:参加申込書(本部用・プログラム用) チーム連絡票 登録用紙(B表)
11. 参加料 1チーム¥30,000円
※参加料は参加申込書と同時に下記宛振込みをお願いします。なお、振込手数料はチームにおいて負担願います。(領収書の発行は原則致しません。)

銀行名: 秋田銀行	ご依頼人名には必ずチーム
支店名: 本荘支店	名を記載してください。
口座番号: 総合 1120190	
口座名: 秋田県ソフトボール協会 理事長 吉田 隆久(ヨシダ タカヒサ)	

- 12 競技規則 2024年度オフィシャルソフトボールルールによる。
- 13 試合球 公益財団法人日本ソフトボール協会検定革製3号球（ナガセケンコー社製）とし、主催者が準備する。
- 14 試合方法 (1) トーナメント方式による。
(2) 3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差がついた場合はコールドゲームとする。
(3) 引き分け試合が無効試合の場合のみ、サスペンデッドゲームを採用する。
- 15 表彰 優勝チームには賞状と優勝旗を、準優勝チーム及び第3位チームには賞状を授与する。
- 16 費用 出場選手の旅費、滞在費はすべて出場チームの負担とする。
- 17 組合せ抽選 女子の部：令和6年4月27日（土）午後5時から 男子の部：6月1日（土）午後5時から
由利本荘市ソフトボール場管理棟において公開代理抽選会を行う。
- 18 監督会議 大会初日の午前8時より、由利本荘市矢島多目的運動広場管理棟において開催する。
出場チームの監督はユニフォームを着用して出席すること。公認指導者資格を確認するため「資格証」を持参すること。
なお、コーチ等のみが有資格の場合、資格証の写しを持参すること。
- 19 開会式 大会初日の午前9時より由利本荘市矢島多目的運動広場において実施するので
全チーム参加すること。前年度優勝チームは優勝旗の返還があります。
- 20 傷害 大会参加者の行事参加中の傷害事故については、主催者は救急車手配のほかは
一切の責任を負わないので、スポーツ傷害保険等に加入すること。
※参加者は全員健康保険証を持参すること。
器物等の破損が生じた場合は、当該者又は当該チームが弁償することもある。
- 21 その他 (1) 出場チームは必ず監督（引率責任者がいる場合は引率者）によって引率され、
監督（引率責任者）は選手の全ての行動に対し責任を負うものとする。
(2) 選手登録人数は30名であるが、ベンチに入ることのできる人数は25名以内とする。
(3) 本大会における男子、女子の優勝・準優勝チームに全日本大学選手権大会の出場権
を与える。
男子：富山県 富山市 9月7日（土）～9日（月） 監・開 9月6日（金）
女子：愛知県 安城市 8月23日（土）～24日（月） 監・開 8月22日（金）
(4) 本大会で棄権したチームの取り扱いは、以下のとおりとする。
①原則として、次年度における当該大会の出場を停止する。
また、組合せ抽選終了後の棄権も、大会期間中の棄権とみなし、同様とする。
ただし、事故等による理由により棄権する場合は、この規定を適用しない。
②参加料は返還しない。
(5) 雷鳴がかすかにでも聞こえたら、ただちに試合を中断する。（競技委員長の判断による。）
(6) 荒天により試合が大会日程中に消化できない場合は、主催者が協議の上決定する。
（抽選による代表権獲得もある。）
(7) 宿泊及び昼食については、斡旋しないので各チームで手配すること。
(8) その他詳細については、参加チームに直接連絡すると共に、監督会議で定める。
大会参加申込書は手書き又はパソコン等で作成し明確に記入すること。
本大会に関する不明な点については、下記大会事務局に問い合わせること。

【本大会の問い合わせ先】

〒015-0809

秋田県由利本荘市本荘4-2

秋田県ソフトボール協会 理事長 吉田 隆久

携帯番号: 090-9421-9103 Fax: 0184-23-1537 E-mail: akitakennsoftball@gmail.com

競技上の注意

大学男子・女子

1 競技規則

- (1) 本大会は、2024年度オフィシャルソフトボールルールを適用する。
- (2) 7回終了時同点の場合は、8回からタイブレークにより試合を継続する。
- (3) 捕手は、準備投球のときスロートガード付きマスクを着用すること。
捕手以外の選手が捕球するときも同様とする。また、競技場内のブルペンで投球するときも着用すること。
投球練習は、危険防止のため一組とする。
- (4) 抗議（プロテスト）は、監督又はそれに代わる者に限る。

2 申し合わせ事項

- (1) 選手の集合時刻は、試合開始予定時刻の30分前又は前の試合の4回終了時まで に、当該球場に集合すること。
- (2) 打順表の記入と提出については、試合開始予定時刻の30分前又は前の試合の4回終了時に、予め配付された打順表(5枚一組)にすべて必要事項を記入し、当該球場本部に提出すること。打順表に記載のない選手は、試合に出場することができない。
- (3) 試合当日の早朝から雨天等で開催が難しい場合は、各チームは待機して主催者の判断を待つこと。
予備日がなく、改めて集まることが難しいため、極力、試合を行うことを原則とする。
- (4) 組合せ抽選は、春季リーグ戦の結果によるシード制を採用する。
- (5) ベンチに入れる選手数は25名以内とし、組合せ番号の若いチームを一塁側とする。
- (6) 大学の引率者1名（部長又は顧問）は、ベンチに入ることができる。
- (7) 前の試合が開始予定時刻よりも早く終了しても、次の試合は原則として開始予定時刻に開始するものとする。
- (8) 連続試合（ダブルヘッダー）となる場合は、次の試合までの準備を考慮し、ベンチ入りを前の試合終了30分後までに完了するものとする。
- (9) 競技用具は危険防止のため、審判員が試合前に規格、損傷の有無を確認する。
- (10) バット及びヘルメットは、規格外や安全性に問題があるものは使用を認めない。
- (11) 試合前の練習は指定された地域で行い、試合に支障がないようにすること。
- (12) 試合開始前（ベンチ入り後）の練習は、ファウル地域及び外野部分において行うことができるが、投球練習及びキャッチボールとする。
- (13) チーム及び選手の応援は、フェアプレーの精神やマナーを遵守して行うものとし、鳴り物による応援は禁止する。
- (14) 監督が審判員に選手交代や抗議などをするときには、サングラスを着用しないこと。
- (15) ベンチ内に競技用具以外の物（自前の椅子など）は、持ち込まないこと。
- (16) 決められた場所以外での喫煙は、禁止する。※会場は全面禁煙となっている。
- (17) 選手間の打ち合わせは、1イニング1回とするように指導する。（R5年度より）
- (18) その他必要なことは主催者において判断するが、原則として（公財）日本ソフトボール協会の「競技者必携」に従うものとする。
- (19) 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン等にそった大会運営をすることから、応援者を含むチーム関係者の健康管理、消毒・衛生管理には十分配慮し、感染防止に務めること。
- (20) 試合前に、ロジンバッグを各チームに渡すこととする。

